



第 2530 地区 福島西ロータリークラブ会報

会長 高 梨 哲 男  
幹事 高 橋 智 弘

奉仕プロジェクト  
委員会委員長 渡 辺 敬 藏

会報写真担当 梅 津 一 匡

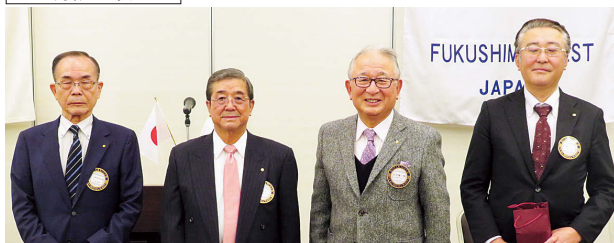
令和5年1月16日(月) 第19回 通算第1647回例会

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎(024)536-1010・FAX(024)536-1011 Eメール/ f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第19回例会 点鐘12:30

- ◇開会点鐘 高 梨 哲 男会長
  - ◇国歌斉唱・ロータリーソング「我らの生業」  
ソングリーダー 宮 崎 秀 剛会員
  - ◇「四つのテスト」唱和  
職業奉仕委員会 宮 崎 秀 剛委員長
  - ◇お客様並びにビジター紹介  
(株)佐藤電気商会 渡 辺 幸 一様  
(株)東邦銀行西福島支店 中 村 真一朗様
- 1月誕生祝い



- \*今年度の誕生祝記念品はワインです
- ・野尻 榮一会員 昭和19年1月10日生
  - ・大平謹一郎会員 昭和20年1月20日生
  - ・庄司 強志会員 昭和39年1月20日生
  - ・佐藤 卓立会員 昭和42年1月19日生

- ◇優良従業員表彰  
(株)佐藤電気商会 渡 辺 幸 一様  
(株)東邦銀行西福島支店 中 村 真一朗様



◇会長あいさつ 高 梨 哲 男会長  
改めまして、皆様あけましておめでとうございます。  
新年早々皆様には4日のRC新年合同例会での御活躍、御苦勞、御配慮をいただき成功裏に終了したことに深く感謝申し上げますとともに、この時期での開催に参加8クラブの満足度を鑑みるにつけ、私にとっては感無量の境地です。  
各参加クラブの評価は聞いておりませんが、そつなくこなすことができましたと思っています。  
しかし、あれだけ皆様の努力と意識喚起を高めることができたつもりでございましたが、残念ながら「新年合同例会は失敗であった」とのたまう輩がいました。主観的な歪曲、矮小の見解が我クラブから出たことは、皆様の行動が否定されたことであり、努力が気泡に終わってしまったことになり、今後の我クラブの方向性に影を落とすことになりかねません。昨今の我クラブは一部の人が先走りし、各行事を主観的にとらえ、要らぬ方向に傾いています。惻隱の情や、長幼の序に欠けているのでは？我クラブはセクショナリズムのない、おらかなクラブの

はずです。組織運営に関する思惑による介入や数値の変更等、何故例年どおりの慣例に従うことがいけないのでしょうか。

我々の活動・奉仕は、RIや地区及び他クラブの顔色を伺ったり、客観的評価のために行動している訳ではありません。

端的に言えば、奉仕は自己満足です。数値的な評価や噂などどうでもいいのです。

確固たるRCに対する信念があれば、決してブレることのない楽しいクラブですし、むやみに問題提起をするのはやめてはどうでしょうか。

◇幹事報告 高 橋 智 弘幹事

○例会変更のお知らせ

・福島北RC17日(火)の例会は、18時よりクラブ新年夜間例会となっております。

・福島東RC20日(金)の例会は、18時より「うな萬」にてクラブ新年夜間例会となっております。

○その他のお知らせ

・21日(土)は後期地区委員会総会が開催されます。当クラブより黒澤信之会員が出席されます。

・1月ロータリーレートは1ドル132円となっておりますのでお知らせいたします。

◇委員会報告

◇プログラム・出席・スマイリングBOX小委員会 渡 辺 敬 藏会員

○佐藤卓立会員＝本日は、当社渡邊の優良従業員表彰と私の誕生祝いをいただき、ありがとうございます。

○石川淳一会員＝本日は、優良従業員表彰お世話になります。

○久米允彦会員＝先日の新年合同例会、つつがなく終える事ができました。ひとえに皆様の御協力の賜物と感謝しております。因みにコロナさわぎは出なかった様でホッとしています。

○宮崎秀剛会員＝本日もよろしくお祈りします。

——優良従業員表彰によせて——

○高梨哲男会長 ○朝倉久仁会員 ○梅津一匡会員

○大平謹一郎会員 ○黒澤信之会員 ○佐藤宗弘会員

○佐藤慶行会員 ○高橋智弘幹事 ○西形健吉会員

○野尻榮一会員 ○渡辺敬藏会員

本日のスマイリングBOX集計15件 38,000円  
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

◇会報・雑誌・広報・IT小委員会

「友」1月号紹介 梅 津 一 匡会員

◇本日のプログラム 職業奉仕委員長スピーチ

「職業奉仕月間にちなんで」 宮 崎 秀 剛委員長

本日のテーマは「ロータリーの職業奉仕」「職業奉仕月間にちなんで」のお話です。

今回、職業奉仕委員長としてスピーチする機会をいただきました。私も新会員セミナーで学びましたが、この度改めて勉強しましたので、ご紹介させていただきます。

ロータリーの歴史と職業奉仕

1905年

ロータリークラブ発足。

ロータリーは人道的な奉仕を行い、すべての職業において高度の道徳的水準を守ることを奨励し、世界においては、親善と平和の確立に寄与することを指向した、事業及び専門職務に携わる指導者が世界的に連携した団体である。※ Wikipedia 参照  
そして、会員の職業倫理を高めること、そこから広がる社会

奉仕と国際親善を目的とします。

ロータリーの職業奉仕の考えは1910年にアーサー・フレデリック・シェルドンの講演が基(もと)になりました。

アーサー・F・シェルドンは、ポール・P・ハリスを助けてロータリーの基礎を確立した3賢の1人との事です(もう1人は、ベンジャミン・フランク・コリンズ)。

その時の演説において、『他者に対する正しい経営の科学のみが引き合うのだ。経営とは人間的な奉仕の科学である。その中間に最もよく奉仕する者が最も多く報いられる』と話しました。

少し難しいので要約すると、こんな意味になります。

『「職業奉仕」とは、自分が世の中のためになる職業を誠意をもって行い、周囲の人たちをより幸せにするために、「倫理観」をもって仕事をすること。そして、その仕事のために、社員・取引先・仕入れ先・下請け・お得意先に迷惑を掛けないこと』。

この理念は100年経った現在も変わらないものだと思います。

1911年

アーサー・F・シェルドンが提唱した「経営とは人間的な奉仕の科学である」に続く、“He profits most who serves best. (最もよく奉仕する者が最も多く報いられる)”が標語として採択されました。

ここでロータリーの「職業奉仕理念」が構築されました。

⇒「職業奉仕理念」の構築

1915年

「ロータリー職業倫理訓」が採択されました。

第1条

自分の職業は価値あるものであり、社会に奉仕する絶好の機会を与えられたものと考えよう。

第2条

自己改善を図り、実力を培い、奉仕を広げること。それによって、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」というロータリーの基本原則を実証すること。

第3条

自分は企業経営者であるが故、成功したいという大志を抱いていることを自覚すること。しかし、自分は道徳を重んじる人間であり、最高の正義と道徳に基づかない成功は、まったく望まないことを自覚すること。

彼は「ビジネスはすべて社会に尽くす手段でなければならない」という信念とともに生きました。

そして、その職業が社会のために役立ち、周囲の人々により高い幸福度をもたらすものであることが望ましい。

そして、その結果としての利益を得て、社会にその相当分の配当としての「税金」を払い、その相当分の報酬として「自分の糧」をいただくのである。

したがって、「職業奉仕」とは使命感を持って行動すること。つまり、天職として人に与えられた役目のようなものと考えられます。

ロータリアンは職業を通じて世の中に奉仕するものと考えているとのこと。そして、もっとも大事なことは、お客様や消費者に迷惑を掛けてはいけないということです。

最近、「エシカル」という言葉がよく使われております。英語で「倫理的な」という意味の英語の形容詞・ethicalですが、最近「倫理的な消費」つまり、「エシカル消費」と呼ばれております。

つまり、「安くても良いモノ」や「自分にとってどれくらい得か」といった基準だけで選ぶことではなく、より広い視野で、「人や社会、地域、環境などに優しいモノ」を購入する消費行動やライフスタイルを指しています。自分以外の他者や地域社会、自然環境などを思いやる、「思いやり消費」、「応援消費」とも言えます。被災地を応援するために、物品を購入することも同様です。「ロータリー職業倫理訓」の「倫理」と同じ意味の「エシカル」ですが、企業側から見るとどうでしょうか。真面目にやると、もしやりすぎるとしたら儲からないかもしれません。

でも、投資家側から見たら、どうでしょうか。

ESG投資という考え方があります。

環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)における課題の解決に資する投資のことですが、ボランティアではなく、同時に投資家は十分な投資のリターンを追求します。

この点が、寄付や援助との大きな違いです。環境、社会、企業

統治(ガバナンス)に真面目に取り組んでいる企業の方が生き残っていく、こんな考え方からです。

一方、SDGsというものもあります。

2015年9月の国連サミットで全会一致で採択されたもので、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標、その下に169のターゲットと232の指標があります。

SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。

特徴は、以下の5つ。

(普遍性) 先進国を含め、全ての国が行動

(包摂性) 人間の安全保障の理念を反映し「誰一人取り残さない」

(参画型) 全てのステークホルダーが役割を

(統合性) 社会・経済・環境に統合的に取り組む

(透明性) 定期的にフォローアップ

いまの世の中の動きです。ロータリーの考え方、運動と同じですよ。

では、我々は何をすべきでしょうか。

まずは、クラブの役割としては、クラブ会員の手腕を生かして、社会のニーズに応えられるようなプロジェクトを開発することが求められています。

また、ロータリーの原則に沿って、自らと自分の職業を律することで、併せてクラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれるそうです。そこであるのが、「職業奉仕月間」です。職業奉仕月間 (Vocation Service Month)

RI理事会は、クラブだけではなく、各ロータリアンも、職業奉仕の理想を日常実践するように強調するために、毎年1月を特に職業奉仕に重点を置いたプログラムを行う「職業奉仕月間」と定めています。

以前は10月を「職業奉仕月間」に指定されておりましたが、2014年10月理事会で大幅な特別月間の変更があり、それに伴って1月へ移行されたそうです。

「職業奉仕月間」中、クラブに推奨する具体的活動には

1. 地区レベルの行事でロータリー・ボランティアを表彰すること
2. ロータリー親睦活動への参加を推進すること
3. 職業奉仕活動またはプロジェクトを提唱すること
4. 空席の職業分類に会員を入会させる会員増強活動

ロータリーの目的は、上にも述べたように、日々の仕事を通して世の中に貢献するために、奉仕の心を育て向上させることです。

奉仕とは他人のために何かをすること、他人のニーズを充たすことを自己の責務として行うことです。ロータリーの目的は、職業を通して社会のいろいろなニーズを満たすこと、ということになります。

「職業奉仕」とは、職業を通して社会のニーズをほぼ完全形で満たせるよう努力を重ねることです。それによって、自己の職業の品位と道徳水準を高め、社会から尊重される存在にすることが出来るのです。

同時に、ロータリアンは日常の職業活動を通して、自分の職場の従業員、取引先の人達やその関係者、ひいては地域社会の人達の模範となり、生きる力の根源である道徳的能力を向上させることに努めているのです。

ロータリーにおいて「職業奉仕」はもっとも重要な理念であり、ロータリアンになる資格の第一は職業人であることが最低条件とされています。ロータリアンは自らの職業を通じて社会に奉仕することが必要となっているため、職業を有しないものは入会できません。

もっとも職業を有していても、真のロータリアンであるか否かは、皆さん自身とその職場が社会の模範となるように努力することを自己の責務と考えているか否かにかかっているのです。

今回、「職業奉仕」の言葉の意味、ロータリーの歴史を調べることで、自らも学ぶことが出来ました。

以上、職業奉仕委員長スピーチとさせていただきます。ありがとうございました。

◇閉会点鐘

※会報カメラ担当

高梨 哲 男会長

梅津 一 匡会員